

特集 水戸市第6次総合計画—みと魁プラン—
2か年実施計画(2022年度～2023年度)を策定しました

さきがけ

魁のまち・水戸を目指して

水戸市第6次総合計画—みと魁プラン—は、各種施策を定める都市づくりの基本方針です。「笑顔あふれる安心快適空間 未来に躍動する 魁のまち・水戸」を、将来都市像として描いています。

この実現に向けた各種施策を円滑に推進するために定めているのが、実施計画です。今回は、2022年度から2023年度までの2年間に取組む重要な事業などを位置付け、新たに策定しましたので、主な内容を紹介します。

問合せ／政策企画課(☎232-9104)

基本構想

水戸市第6次総合計画—みと魁プラン—

●基本構想(15年間)

<2014～2028年度>

本市の目指す将来都市像を描き、それを実現するために必要な施策の大綱を定めています。

●基本計画(10年間)

<2014～2023年度>

将来都市像の実現のための具体的施策や到達を目指す目標水準を定めています。

基本計画

●実施計画(3年間)

社会経済情勢の変化などに対応しながら、基本計画に定める施策の実施に向けた年次計画を定めるもので、毎年度見直しを行います。

なお、みと魁プランの最終年次が2023年度となることから、今回は2年間の実施計画を策定します。

▼2か年実施計画の構成

総論と各論で構成します。総論は、目標人口などの基本的指標や「魁のまちづくりNEXTプロジェクト」などで構成し、各論は、主要施策年度別計画や財政計画、施設整備計画などで構成します。

実施計画

「魁」は、水戸藩第9代藩主 徳川齊昭公が漢詩「弘道館に梅花を賞す」に、自らの政治改革の姿勢を梅香になぞらえ、「雪裡春を占む天下の魁」と詠まれ、他のものを先んずる精神として表されました。

Project 4 魅力・活力アッププロジェクト

主な目標指標	
▼観光交流人口(年間入込観光客数)	
現況(2020年度) 1,426,000人※ (2020年)	目標値(2023年度) 4,500,000人 (2023年)
▼中心市街地の歩行者通行量	
現況(2020年度) 76,979人※	目標値(2023年度) 131,500人

主な戦略的取組

- 観光交流拠点の魅力を磨き上げるとともに、水戸の魅力の効果的な発信により、観光交流人口の増加を図ります
 - 偕楽園公園(千波公園)の整備(パークPFI(※1)の導入による魅力の向上)
 - 水戸城歴史的建造物を活用したイベントの開催
 - 七ツ洞公園の整備
 - 植物公園の再整備
 - 戦略的なイベントの展開と各種まつりの充実
- 都市核(中心市街地)における魅力づくりや企業誘致に取組むなど、まちのにぎわい、活力を創造します
 - 多様な交流の創出によるにぎわいづくり
 - まちなか居住の促進(子育て世帯の住みかえ支援)
 - 企業誘致、創業支援の強化
 - 新市民会館の整備**
 - プロスポーツチームをと おした地域活性化の推進



建設中の新市民会館

用語の解説

※1…都市公園の敷地内で民間事業者が収益施設を整備・運営し、公園の魅力を高める制度。

Project 3 災害に強いまちづくりプロジェクト

主な目標指標	
▼浸水被害箇所数	
現況(2020年度) 195か所	目標値(2023年度) 120か所
▼防災訓練参加者数(年間)	
現況(2020年度) 2,789人※	目標値(2023年度) 15,000人

主な戦略的取組

- 災害予防、減災に向け、災害に強い都市基盤づくりを進めます
 - 浸水被害対策の推進(都市下水道、排水路、公共下水道雨水管の整備)
 - 国・県管理河川の整備促進
 - 南消防署の移転改築**
 - 民間住宅、建築物の耐震改修への支援
 - 耐震型循環式飲料水貯水槽の整備(新設1基)**
- 災害時に備え、防災体制とともに、情報発信などの強化を図ります
 - 防災対策・体制の強化(新たな浸水想定区域のハザードマップ作成など)
 - 地域と連携した防災訓練の実施
 - 備蓄物資・資機材の充実(災害時要配慮者に係る物資の更新など)
 - 災害時における国・県との連携体制の強化
 - 原子力安全対策の強化(原子力防災対策会議の開催など)
 - あらゆる手段を活用した防災情報の伝達



防災ラジオ訓練放送



ハザードマップ

魁のまちづくりNEXTプロジェクト

「魁のまち・水戸」を実現するため、「魁のまちづくりNEXTプロジェクト」を定めました。このプロジェクトでは、水戸ならではの特色を生かし、個性と魅力、そして都市力を高めていくうえで、効果の高い政策・施策への重点化を図ることとしています。

NEXTプロジェクトには、4つのプロジェクトを位置付け、みと魁プランの後半5年間(2019年度～2023年度)に横断的な推進体制のもとで優先的かつ集中的に取り組めます。主な戦略的取組のうち、**青字**は2023年度までに完成予定の事業です。

主な目標指標の現況のうち、「※」は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べ大きく減少しています。

Project 2 いきいき健康プロジェクト

主な目標指標	
▼要介護等認定を要しない高齢者数	
現況(2020年度) 58,187人	目標値(2023年度) 62,000人
▼スポーツ施設の利用者数(年間)	
現況(2020年度) 572,126人※	目標値(2023年度) 1,300,000人

主な戦略的取組

- 安心して医療サービスを受けられる環境の充実を図ります
 - 安定的な医療提供体制の維持・確保(公的病院等の運営支援)
 - 医療従事者の確保(看護師の復職支援など)
 - 医療の安全確保(医療機関の開設許可、監視指導など)
 - 小児科、産婦人科の医療機関開設支援の拡充
 - 緊急診療体制(休日夜間緊急診療所など)の充実
- 生涯にわたって、いきいきと健やかに暮らせる環境づくりを進めます
 - 認知症施策の推進、在宅医療・介護連携の推進、生活支援体制の整備
 - 介護予防の推進
 - こころの健康づくりの推進(こころの健康相談、早期治療の促進など)
 - (仮称)西部いきいき交流センターの整備
 - スポーツなどとおした健康づくりの推進
 - 食の安全・安心の確保(飲食店の営業許可、監視指導など)



休日夜間緊急診療所



ICTを活用したオンライン授業

Project 1 未来への投資プロジェクト

主な目標指標	
▼放課後学級待機児童数	
現況(2020年度) 待機児童ゼロ (2021年4月1日)	目標値(2023年度) 待機児童ゼロ
▼小・中学校校舎の長寿命化型大規模改造(2023年度までに築50年を経過する校舎)	
現況(2020年度) 小学校 2校完了	目標値(2023年度) 小学校 8校完了 中学校 1校完了

主な戦略的取組

- 安心して子どもを産み、育てることができるよう、子育てを応援します
 - 保育士確保対策事業の推進
 - 放課後学級・放課後子ども教室の一体的運営
 - 市民センター子育て広場の実施(全市民センター)
 - 不妊・不育症治療の支援
 - 子ども発達支援センターの体制強化(発達支援教室など3教室開設)**
- 子どもたちの学力向上を図るとともに、生きる力を育みます
 - 水戸スタイルの教育の推進(学力向上サポーターを活用した学習指導、ICT教育の推進など)
 - 小学校施設の長寿命化型大規模改造(校舎2校、屋内運動場1校)
 - 小・中学校校舎のトイレ洋式化の推進(全校完了)**
 - 少人数学級によるきめ細かな教育の充実(35人以下の学級による教育の推進)
 - 学校の特色を生かした教育の推進(小規模特認校制度による教育の推進など)

「魁のまち・水戸」を実現するため、施策の大綱に基づき、さまざまな具体的施策を位置付けています。主な事業のうち、**青字**は2023年度までに完成予定の事業、**㊦**は新規の事業です。

主要施策年度別計画

3 水戸ならではの歴史、自然を生かした魅力ある「みと」づくり

3-1 歴史、文化の継承と振興

- 世界遺産登録に向けた取組の推進
- 水戸城歴史的建造物を活用した魅力づくり
- 地域の文化財を活用したまちづくり
- 水戸芸術館と新市民会館が一体となった芸術・文化の創造・発信
- 新市民会館における事業の推進
- 市民主体の芸術文化活動の促進
- 水戸発祥のおセロ文化の普及・啓発

- 生活排水対策の推進
- (仮称)東部公園の整備
- 大塚池公園のリニューアル整備
- 四季折々の花や香りを楽しめるガーデンづくり(植物公園、七ツ洞公園、保和苑などをめぐる水戸の花絵巻事業)
- 森林公園の再整備
- ごみの分別の普及・啓発と再資源化の推進

3-2 豊かな自然との共生

- ㊦ゼロカーボンシティ(※1)の実現に向けた施策の推進
- 環境学習・教育の充実
- 千波湖・桜川の水質浄化の推進

3-3 交流を創出する魅力の向上と発信

- コンベンション誘致活動の推進
- フィルムコミッションの充実
- 「みとちゃん」によるPR活動の推進
- 納豆を活用したPR活動の推進

4 市民と行政との協働による自主・自立した「みと」づくり

4-1 市民の多様な活動の推進

- 地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化(町内会加入に向けた取組の推進など)
- ボランティア団体、NPOなどの情報の共有、人材育成
- 生涯学習のしやすい環境づくり
- 子ども読書活動の推進
- 全国大会やプロスポーツなどの大会の開催・誘致
- 水戸黄門漫遊マラソンの開催
- スポーツ・健康増進施設の環境整備(空調設備の設置)**
- 女性の活躍推進に向けた環境づくり
- 外国人が訪れやすく暮らしやすい環境づくり
- 平和事業の推進

4-2 市民主体の行政運営の推進

- 政策形成過程における市民参画の推進
- 産・学・官連携事業の推進
- ㊦行政のデジタル化、DX(※2)の推進(SNS、オンライン手続きの活用など)
- ㊦デジタル弱者支援の推進
- 新たなデジタル技術(5Gなど)を活用したICTまちづくりの推進
- ㊦SDGs(※3)の実現に向けた施策の推進
- みと財政安心ビジョンに基づく財政運営の推進

用語の解説

- ※1…2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指す自治体。
- ※2…Digital Transformationの略。デジタル化を進めることで、物事の効率化を図り、それによって生み出される人や時間といった資源をマネジメントし、新たな価値を創造する取組。
- ※3…Sustainable Development Goalsの略。持続可能な開発目標。



小学生オセロ選手権
(3-1 歴史、文化の継承と振興)



プロスポーツチーム(スポーツの振興)
(4-1 市民の多様な活動の推進)

水戸市第6次総合計画—みと魁プラン—2か年実施計画(2022年度～2023年度)の詳細は、市ホームページをご覧ください。政策企画課(☎232-9104)にお問合せください。右の二次元コードからも確認できます。



1 笑顔にあふれ快適に暮らせる「みと」づくり

1-1 未来を担う子どもたちの育成

- ㊦安心して子どもを生み育てられる総合的な環境づくりの推進
- 子育てしやすい居住環境づくり
- 市立幼稚園の再編
- ㊦市立保育所などの緊急安全対策の推進
- 小中一貫教育の推進
- 小学校校舎の増築(笠原小学校、吉沢小学校)**
- ㊦学校施設の緊急安全対策の推進
- ㊦学校施設のバリアフリー化の推進
- 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

1-2 みんなで支えあい助けあう地域社会の実現

- 地域見守り・支えあいの推進
- 介護人材の確保に向けた取組の推進
- 特別養護老人ホーム(40床)の整備促進**
- 相談・支援の充実(基幹相談支援センター1か所増設)
- 権利擁護の充実
- 障害者の収入拡大に向けた取組の推進
- 特定健康診査・特定保健指導などの推進

1-3 健やかな生活の実現

- ㊦健康危機管理の充実(健康危機発生の未然防止など)
- ㊦ICTを活用した健康づくり

- 歯科保健の推進
- 生活習慣病予防の推進
- ポストコロナに対応した感染症対策等の推進
- 妊産婦支援、乳幼児育児支援の充実
- 動物愛護の推進

1-4 災害に強いまちづくりの推進

- 地域防災計画の見直し及び計画に基づく施策の推進
- 災害時要配慮者支援の充実
- 次世代防災リーダーの育成(学校、市民センターにおける防災教育などの推進)
- 消防施設の整備(緑岡出張所の改築)
- 救急医療の普及・啓発

1-5 安全・安心な暮らしの実現

- ㊦保育所などの園外活動における安全対策の推進(キッズゾーンの整備)
- 通学路における歩道整備などの推進
- 交通安全施設の整備(国道50号上空通路)
- 空き地・空き家対策の強化
- 市民との協働による応急給水体制の充実
- ライフステージに応じた消費者教育、意識啓発、人材育成など
- 新たな斎場の整備

2 未来に躍動する活力ある「みと」づくり

2-1 魅力ある都市機能の充実

- 都市機能、居住の誘導によるコンパクトなまちづくり
- 泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業**
- 水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業
- 防災まちづくり(泉町1丁目広小路地区優良建築物等整備事業)
- 中心市街地における商業施設などの立地促進
- 赤塚駅周辺地区の拠点機能の充実(赤塚駅西線の整備など)
- 内原駅周辺地区整備(橋上駅舎など)
- 公共交通体系の構築に向けた取組の推進
- 公共交通空白地区などにおける移動手段の充実
- 都市計画道路の整備(4路線5工区)
- 道路新設改良(3路線)
- 快適な自転車通行空間の整備
- 狭あい道路及び後退敷地の整備
- ㊦中古住宅の流通促進(空き家バンクの活用など)
- 若い世代の移住・定住の促進
- ㊦いばらき県央地域連携中枢都市圏における取組の推進

2-2 活力あふれる産業の振興

- ポストコロナに対応した施策の推進(観光、商業、農業、工業の振興など)
- ㊦(借楽園周辺の回遊性の向上(借楽園周辺道路拡幅整備))
- 借楽園・千波湖周辺の魅力づくり
- ロマンチックゾーン(保和苑周辺)の魅力づくり
- 植物公園の新たな魅力づくり
- 広域連携による回遊できる観光地づくり
- 体験・交流型観光の充実
- 商店街活性化の支援
- 店舗開業・出店の推進
- 持続可能な農業の推進(経営の大規模化、ブランド化支援など)
- 多様な担い手の確保・育成
- 農業生産基盤などの整備
- 技術者・後継者の育成支援
- 企業立地の促進
- UIターン者の促進
- 若い世代の地域雇用の促進